

平成 22 年度 基本方針

はじめに

第 9 期を迎える平成 22 年度は、第 8 期が体制作りの年であったとするならば、法人本来の理念に向かって本格始動する年と位置付けます。

当法人の理念である「市民セクターの確立」とは、エンパワーメントを持った自律した市民が多い社会をつくり上げることであると考えます。(エンパワーメントとは、「個人が自分自身の力で問題や課題を解決していくことができる社会的技術や能力を獲得すること」であり、自律とは、「他からの支配・制約などを受けずに、自分自身で立てた規範に従って行動すること」と定義されます。)

そこで、本格始動のために、まず、組織を「ひとづくり」と「まちづくり」の 2 つの事業部体制としました。従来どちらかと言うと、就労支援に重点を置いた「しごと支援チーム」の概念をより大きく広げ、自律したひとづくりを全般的に支援すると言った観点から「ひとづくりチーム」とし、同時に「まちづくり支援チーム」も「まちづくりチーム」と名称変更しました。「まちづくり」はより地域に密着した地道な活動を、「ひとづくり」はその基礎となる自律したひとの育成を目指していきたいと考えます。

そこで、「ひとづくり」、「まちづくり」それぞれの基本理念と基本方針を策定し、それをもとに具体的な活動を進めます。

「ひとづくりチーム」においては、まず、「若者しごと倶楽部サテライト播磨運営事業」の業務内容の見直しを加速させ、日々の相談業務を通じて仕事に就くことがゴールではなく、仕事の中で、自分自身の生き方を見つめ、やりがいや働きがいを持って仕事に取り組むことができる人材、つまり、リテンション＝働き続けることのできる人材を育てていきたいと考えます。

また、「生きがいしごとサポートセンター」においては、NPO 法人の設立や運営のサポートだけでなく、コミュニティ・ビジネスとソーシャル・ビジネスの総合支援機能を付加するためのプログラム開発を「まちづくりチーム」とも連携しながら行います。

更に、淡路地区におけるコミュニティ・ビジネスの普及、啓発活動も「生きがいしごとサポートセンター播磨東」の運営事業と連動させ、より専門的な相談業務等にも対応できるよう職員の育成に力を入れて行きたいと思えます。本年は、現地淡路での人の採用により、より内容のある事業にして行きます。

「まちづくりチーム」では、東播磨生活創造センター「かこむ」の運営が指定管理者として 2 年目に入り、より地域に密着しながら、東播磨地域の市民活動や生活創造活動を支援する拠点としての機能を強化していききたいと考えます。特に、自治会や商店街などの地縁組織や共益組織への支援強化に取り組みます。人から信頼され、地域になくってはならない法人となることを目指します。

また、「まちづくりチーム」の中に、「ひとまちセクション」を作ります。「まち」をつくるのは「ひと」であり、「ひと」への支援は必要不可欠です。そこで、「まち」と「ひと」を繋いでいきます。具体的には、ボランティアで活動したい人のデータベース化や地元で活動するアーティスト情報をデータベース化する人材バンクの創設等を行います。

平成 22 年度 各事業部の基本理念・事業内容

Ⅰ.『ひとづくり』基本理念・事業内容

【基本理念】

「自律したひと」づくりを通じて、
人と社会のためにある経済社会の形成に寄与し、
自律した市民セクターの充実を目指す

(解 説)

社会を構成するあらゆる組織（企業、団体、行政、地縁組織等）の基本は「ひと」です。自律した「ひと」とは「自分で考え、自分で行動する」人で、「自分が変わること、社会を変えよう」とする人です。そうした「ひと」が創る社会の実現を目指します。

【事業内容】

1. 「自律したひとづくり」に関する様々なプログラムを開発・実施する

- ① リテンション＝働き続ける人間力の養成
- ② リテンション・マネジメント＝雇用し続ける経営力の養成
- ③ 「シーズ加古川塾」の企画・実施
- ④ 当法人職員研修の企画・実施

2. CB・SBサポートセンターとして機能するためのプログラムを作成し、立ち上げ時の基盤を作る

- ① ボランティアや市民活動団体、NPO 法人や企業等へのコンサルティング業務の実施
- ② 障害者福祉事業所支援の強化
- ③ 生きがいしごとサポートセンター播磨東の運営
- ④ ふるさとコミュニティ・ビジネス創出支援事業（淡路地域）の実施

3. 「はたらく」を実現するための各年代層に適応したプログラムを企画・実施する

- ① 「若者しごと倶楽部サテライト播磨」事業における相談力の強化
- ② 人材教育型職業紹介の実施
- ③ 中間労働市場の開拓と今後の事業展開への模索

II. 『まちづくり』 基本理念・事業内容

【基本理念】

「地域に根差したまちづくり運動」を念頭に、
 広く社会から「信頼」を得ながら、
 さまざまな組織やグループ、そしてそれらの活動を支援する事を通じて、
 自律した市民セクターの充実を目指す

(解 説)

まずは、地元地域での実績や信頼を得ることを強く意識しながら、活動形態で言うと、生活創造活動、市民活動、市民公益活動を支援し、組織形態で言うと、テーマ型、地縁型、共益型組織を総合的に支援することによって市民参加型社会の実現を目指します。

【事業内容】

1. 地域に根差したまちづくりの推進

- ① 東播磨生活創造センター「かこむ」の運営
- ② 続・新かこがわ事典の企画・編集

2. 外部機関や市民活動団体、ボランティアとの連携強化

- ① 加古川市をはじめとする東播磨地域各市町の社会福祉協議会、加古川商工会議所等との連携強化
- ② かこがわ市民団体連絡協議会、あかし市民活動団体連絡協議会等との連携強化
- ③ ボランティア・バンクの構築
- ④ アーティスト・バンクの構築
- ⑤ 企業の社会貢献活動アンケート調査の実施

3. 地縁組織とのネットワークづくりの推進

- ① 自治会・町内会等の地縁組織を中心にしたネットワークづくりと支援の強化
- ② 県民交流広場事業への支援の強化

【東播磨生活創造センター「かこむ」運営に関する平成 22 年度基本方針】

1. 信頼される「かこむ」づくり

さらなるホスピタリティの向上と利用者からの信頼を得るための創意工夫を重ねます。

2. 東播磨市民活動カルテづくりプロジェクトを活用した、積極的なネットワークづくり

東播磨の市民活動のアーカイブであるこのプロジェクトの対象範囲を地縁組織や社会協力活動を行っている企業にまで広めながら、ネットワークづくりを進めます。

3. ボランティアに支えられる「かこむ」づくり

ボランティアにお手伝い頂く仕組みを構築し、参画や協働の意識を醸成し、この地域のボランティアの活性化に繋がります。

4. 生活創造活動と市民活動の芽を「育てる意識」の強化

中間支援組織として、活動団体のスキルアップを常に念頭に置いてサポートする姿勢を貫きます。

5. よろず相談体制の確立

多様化する相談業務に的確に対応し、相談員の数の増強と相談の質の向上に努めます。